

ただいま
只今の子供たちの、文字を読むのを御覧になって、非常に驚かれたことと思ひます。

これは、私がどこの幼稚園でやりましても、皆さん、ほんたうに心から驚いてくださいます。子供たちは、このやうに、漢字といふものについて、鋭い直感力と申ませうか、何の努力をするでもなしに、もう何の苦もなくその字形を頭の中に、意味と共に刻みつけてしまって、話が終わりますと、すぐさまこれを自分のものとしてしまって、すらすらと読む。かういふことが出来るのであります。この力は、私の十数年にわたる実験によりますと、三歳ごろから小学校に入るまでの間が最も強く、六歳ごろを頂点として、それ以後は目に見えて衰へて参ります。

今日のお勉強は、この幼稚園の園児たちが、三ヵ月の間に学んだものを基にして行ったものですが、子供たちにどの程度漢字が読めるかといふ事は、実は私は知らなかったわけです。今初めて、こんな字まで読めるのかと驚いたやうな次第ですけれども、とにかく、ほんのわづかな時間見ただけの漢字を、すぐ頭の中に入れて読めるやうにしてしまふ。これが幼児の持つ素晴らしい能力であります。

さて私は、最初に、言葉の力といふ事についてお話申し上げたいと

思ひます。フランスのポール・ショシャルといふ学者が、『言語と思考』といふ書物の中で、未開民族の子供でも、五歳までに西欧に移してそこで育てるならば、西欧の文化を吸収する能力をつけさせる事が出来る。然し、五歳までに十分な言語教育を受けなければ、脳がその能力を失ってしまふ。人間の思考力は、子供の時覚えた言語によって左右される。とこのやうな事を書いて居ります。

これは、言葉の重要性といふ事と共に、言葉の学習の時期といふものが極めて重要である事を指摘して居ります。つまり、言葉の学習は、五歳までに完成するといふのでありますが、これは私どもの非常に注目すべき学説だと思ひます。

次に、アメリカの人間工学研究所で、ジョソソソ・オコナー博士たちによって四十万人もの多くの人々を対象に調査研究した結果、国語の力は、学校においても、社会においても、成功のための第一の条件である、かういふ事が報告されて居ります。つまり、言葉の力があらゆる能力の基本である。従って、言葉の力が強ければ強いほど、あらゆる分野において成功しうるといふことを、四十万人もの人々を対象に調査研究した結果の結論として述べてあるのであります。